

県立図書館は情報のワンダーランドです

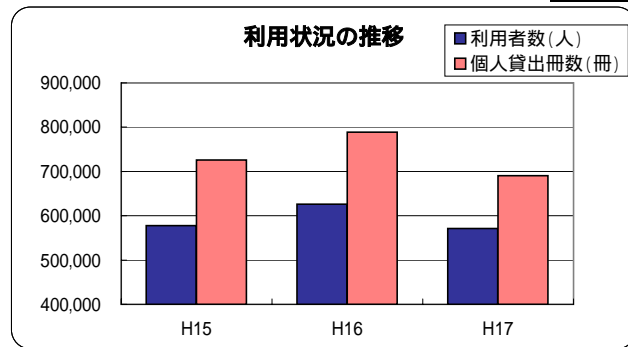
所在地	福井市下馬町51-11		
設置年月日	昭和25年4月1日(平成15年2月1日新築移転)		
施設の種別	図書館	施設管理主体	県
設置の目的	図書その他の必要な資料を収集・整理して、広く県民の利用に供し、本県における生涯学習活動の拠点とする。		
概要 (構造、面積、主な機能)	鉄筋コンクリート造(一部鉄骨鉄筋コンクリート造)、地上5階、地下1階 延床面積15,317㎡、蔵書66万冊(開架30万冊、書庫36万冊)		
職員数	職員24人 事務補助員1人 アルバイト3人 計28人		

利用状況等

	H15	H16	H17
利用者数(人)	577,568	626,208	571,359
個人貸出冊数(冊)	725,734	788,468	690,285

利用者負担(利用料金)等

施設使用料	多目的ホール	21,000円 (全日の場合)
	複写手数料	白黒 10円 カラー 80円



利用状況の推移	平成15年2月に新館を開館し、平成15年度の利用者数・個人貸出冊数ともに旧館時代に比べ2倍以上となりました。
	平成16年度は利用者数約62万人、個人貸出冊数約78万冊となり、都道府県立図書館の中で、人口1人あたりの入館者数全国1位、人口1人あたりの貸出冊数全国2位となりました。
	平成17年度の利用者数は約57万人、個人貸出冊数は約69万冊でした。豪雪等の影響もあって、対前年度比約10%の減となりましたが、人口1人あたりの入館者数・貸出冊数ともに、都道府県立図書館の中で上位となっています。

平成17年度の特徴について

事業実績	起業を目指す人やビジネスマンの活動を支援するため、「産業支援コーナー」を開設しました。このコーナーではビジネス関連図書や雑誌を配置し、併せて商用オンラインデータベースや官報情報を利用できるようにしました。
	本県出身の漢字・文字研究者で文化勲章を受賞された白川静先生の功績をたたえ、「白川文字学の室(へや)」を開設しました。室内には著作や直筆原稿、漢字文化に関する資料などを展示しています。
	郷土の先覚者の気概を知っていただくため、「五箇条の御誓文」の原案となった由利公正直筆「議事之体大意」を入手しました。これを記念し、8月から特別記念展「五箇条の御誓文と由利公正」を開催しました。また、館内に複製品を掲示し、広く来館者に公開しています。

県立図書館で借りた図書を地元の図書館で返却できる「遠隔地利用者返却サービス」を、嶺北地域8館、嶺南地域7館で1月から試行しました。

東海・北陸地区図書館地区別研修会の開催をはじめ、読書週間記念行事として、作家江上剛氏による講演会や「子ども本の講座」などの各種講演会・講座を開催しました。

各種行事の開催

読書週間記念大会などの講演会や、子ども向け行事を多数開催しました。また、県内図書館職員の資質向上を図るための研修会を開催しています。



図書資料の展示

郷土展示コーナーでは、年4回所蔵する多くの貴重な郷土資料を、いろいろな角度から展示・紹介しました。一般企画コーナーや子ども室特集コーナーでは、毎月テーマを決め、図書を紹介しています。



県立図書館の利用者サービス

- ・レファレンスサービス(調査・相談)
 - ・リクエスト、相互貸借
 - ・インターネット予約サービス
 - ・遠隔地利用者返却サービス
- 図書館司書が、利用者の調べ物に必要な資料や情報を紹介したり、資料を探す手伝いをするサービス
- 利用者が求める資料を所蔵していない場合に購入したり、県内外の図書館とのネットワークにより資料を借りて提供するサービス
- 利用者が、家庭のパソコンからインターネットで県立図書館の資料を予約することができるサービス
- 県立図書館や若狭図書学習センターから離れた市・町に居住する利用者が、県立図書館や若狭図書学習センターで借りた資料を近くの市町立図書館で返却できるサービス

県立図書館ホームページ

<http://www.library.pref.fukui.jp/>

福井県立図書館(2/2)

行政コスト計算書(平成17年度) (単位 千円)

		総額	構成比	前年比
人にかかるコスト	人件費	236,743	28.1%	97.0%
	退職給与引当金繰入	720	0.1%	-
	計	237,463	28.2%	100.0%
物にかかるコスト	物件費	297,364	35.2%	104.5%
	維持補修費	2,704	0.3%	63.2%
	減価償却費	175,156	20.8%	100.0%
	計	475,224	56.3%	102.4%
その他	公債費(利子)	130,718	15.5%	96.6%
	その他	197	0.0%	112.6%
	計	130,915	15.5%	96.6%
合計		843,602	100.0%	100.8%

バランスシート(平成18年3月31日現在) (単位 千円)

借方			貸方		
資産		前年比	負債		前年比
有形固定資産	13,715,045	99%	固定負債	9,945,409	94%
投資等	0	-	流動負債	679,425	131%
流動資産	0	-	正味資産	3,090,211	114%
計	13,715,045	99%	計	13,715,045	99%



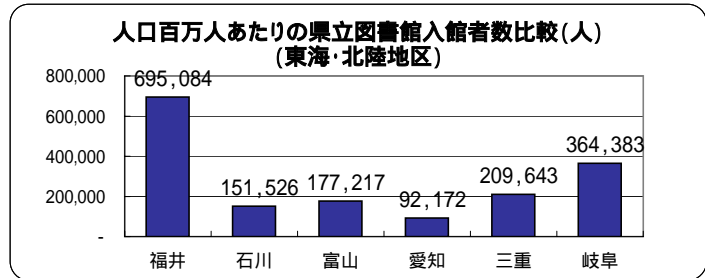
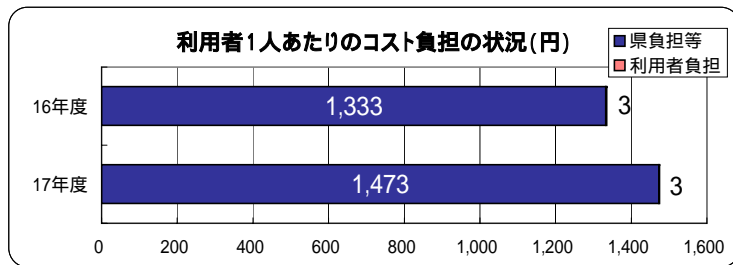
施設の特徴	<p>さまざまなジャンルの蔵書を有しており、生涯学習の拠点施設として、多様化・高度化する県民の学習ニーズに応えています。</p> <p>県内の図書館の中心的な存在として、階層別の図書館職員研修や、市町立図書館を通じた所蔵図書の出借を行っています。</p> <p>学校図書館への貸出やおはなし会・子ども映画会などの子ども向け行事の開催を通じて、子どもの読書活動の推進を図っています。</p> <p>福井県に関する資料の収集・保存に積極的に取り組んでおり、本県の歴史、文化、経済等の情報を広く県民に提供し、利用されています。</p>
今後の課題	<p>地域や住民に役立つ図書館となるために、様々な情報を提供する機能の一層の充実が必要です。</p> <p>利用者サービスの向上に向けた市町立図書館への支援、連携がさらに必要です。</p>

(単位 千円)

収入				
	利用料等収入	1,670	0.2%	85.0%
	その他収入	968	0.1%	99.1%
	一般財源	840,964	99.7%	100.8%

(前年比)

利用料等収入計	1,670,000 円	85.0%
利用者1人あたり平均利用料	3 円	100.0%
利用者1人あたりコスト	1,476 円	110.5%



バランスシート、行政コスト計算書の特徴	<p>施設の建設が平成14年度と新しく、減価償却費や公債費の割合が高くなっています。</p> <p>平成17年度の利用者数が減少(626,208人 571,359人)したため、利用者1人あたりのコストが前年比140円増加しています。</p>
---------------------	--

今後の事業方針、取り組み内容	<p>平成17年度の利用者数は減少しましたが、今後は以下の取組みにより、利用者増を図ります。</p> <ul style="list-style-type: none"> 子どもから大人までが楽しめる企画展示、イベント等の開催 ふるさと文学コーナーの充実(積極的資料収集、情報発信の充実) 歴史資料活用による特別展の拡充 新館開館5周年記念イベントの実施 企画展等と関連した講座等の開催 読書週間や夏休み等におけるイベント開催 <p>サービスの充実</p> <ul style="list-style-type: none"> レファレンス機能の充実(HPの内容充実、情報の発信) 産業支援コーナーの機能拡充(関係資料の充実、関係機関との連携) <p>図書館PRの強化</p> <ul style="list-style-type: none"> 遠隔地利用者返却サービスの利用促進PRの強化 各種サービス、イベントの周知を高めるPRの推進 <p>団体向け貸出文庫の利用促進</p> <ul style="list-style-type: none"> 資料の充実、学校・地域文庫・読書会等へのPR
----------------	--